

## 容器やコンテナに模様や色を加えて、オリジナルコンテナを作る

作成者：グリーンナレッジ

- 対象者・人数：小学校中学年以上 10～30名
- 所要時間：2時間（コンテナ作り1時間、植え込み1時間）
- 指導者・アシスタント人数：指導者1名、アシスタント1～3名
- 実施場所：学校、児童館、公民館

### ■ 資材

- ・素焼き鉢、ペットボトルなど
- ・ケマージュ（工芸用のり・デコパーージュ専用のり）  
クラフト店で購入 \*1人小さじ1杯使用
- ・トップコート（つや消しの仕上げ剤または水性防水剤）  
\* 室内観賞用の鉢は省いてもよい
- ・筆（平筆が使いやすいが絵の具筆でもよい）
- ・パレット、水入れ ・お弁当用ふたつきおかずカップ
- ・ハサミ ・ペーパーナプキン
- ・アクリル絵の具 ・ドライヤー
- ・鉢底ネット ・鉢底石 ・培養土



工芸用のり・筆



ペーパーナプキン

デコパーージュとはフランス語で“切り抜く”という意味をもつ。紙や布などの絵柄を切り抜き、家具などに貼って装飾し、仕上げ剤で何度もコーティングして仕上げる。

17世紀にイタリアの職人が日本の漆工芸にヒントを得て考案したという説や他の説もある。

最近では、手工芸としても人気が、ケマージュ(工芸用のり)は空き缶、ガラス、タイル、木、鉄、プラスチック、布製品などに貼り付ける事が出来るデコパーージュ専用糊である。

### ■ 花材

- ・パセリやイタリアンパセリ・バジル・ミントなど馴染みのあるハーブ苗
- ・季節の花苗など



パセリ

### 【指導内容と目的】

- ・ ペットボトルや、素焼き鉢にナプキンの模様を貼り付けたり、色を加えて、自分オリジナルの器を作り、季節の植物を植える。（薄い包装紙なども使用できる）
- ・ 鉢やペットボトルに少しの工夫やアイデアを加えることで世界に一つの自分だけの作品ができることを楽しみ、創作することを学ぶ。
- ・ 植物を植え育て、生長を観察する。
- ・ オリジナルコンテナで育てたハーブには収穫して、お茶（ハーブティー）や料理のスパイスとして使ったり、ポプリ作りなど、さまざまな利用方法があり、キッチンなど、身近な場所で楽しむことができる。

### 【対象者への配慮】

#### 安全面での配慮

- ・ ハサミは先端の丸いものを使用し、けがをしないように注意する。
- ・ 素焼き鉢を使用する場合、割れやすいので丁寧に扱うように指導する。ペットボトルを使用する場合、切り口で手を切らないように気をつける。
- ・ ケマージュは乾燥しないように、蓋付き容器に1人分ずついれておく。ペーパーナプキンは一枚がとても薄いので、丁寧に扱う。包装紙を用いるときは薄手の物を使う。
- ・ 使用する道具は、平筆、パレット、水入れ、ハサミなど忘れ物のないように事前に連絡をする。
- ・ ペーパーナプキンや、包装紙などの図柄を切り取る際は、繋がったパーツは気にせず、気に入った部分だけを切り取ってよい。
- ・ ハサミを使って小さく切るのが苦手な子供には、余白を含めて、丸や四角など枠をつけて切り貼りをするのも良い。面積が大きくなると、貼る際にしわになりやすいので注意したい。
- ・ 一人で作業する子どもがいないように、グループで作業できるようにする。作業が遅れている子どもには、安心するような声がけをし、見守るようにする。

## ① 事前の準備

## 主催者または会場との打ち合わせ

- ・ 日時、場所の確認・経費の確認
- ・ 対象学年・人数・コンセン特的確認
- ・ 内容や予算など主催者の意向を聞く。
- ・ 資材、道具、花材など、主催者が準備するもの、子供たちが準備するもの、指導者が準備するものを打ち合わせる。
- ・ 完成見本、作成途中の見本の作成。
- ・ 蓋つきの容器に、ケマージュを1人分ずつ測って入れておく。

## ③ 当日の流れ

時 間：準備 1 時間 実習2時間 片づけ 30分

## 準 備

主催者、講師、アシスタントと進行の打ち合わせ。

机を5～6人ずつの班に並べる。

机に新聞紙を敷く。

コンテナ作りの作業用資材を、まず先に机に置いておく。

植え込み用資材・花材は1班ずつまとめてテーブル近くの床においておき、

コンテナ作りの片付けを始めたなら、素早く机におく。

## 実 習

挨拶 講師自己紹介、アシスタント紹介

注意事項

作業開始

作業終了

植物の育て方を説明

感想発表

後片付け 資材、道具を元に戻し、簡単な清掃

終わりの挨拶

解散

## 片づけ

机を元の位置に戻し、清掃

主催者、講師、アシスタントでの反省会

## ■ 具体的な手順・作業ポイント

ペーパーナプキンの好きな図柄を切り抜く。

\* ペーパータオル、薄い包装紙でも可  
(時間がない時はあらかじめ図柄を切り抜いておく。)



① 三枚重ねになっている物が多く、その一番上の一枚を丁寧にはがす。



② コンテナのどの部分に図柄を配置するかを決め、コンテナの表面にケマージュを平筆で塗る。その上にそっとナプキン図柄をのせる。



③ ケマージュを図柄の上から塗る。

筆を寝かせ、コンテナと柄の間の空気をそっと押し出すようにする。筆を立てるとナプキンが破れる。ドライヤーで乾かす。

再度ケマージュを塗り、乾かす。  
使用した筆は乾かないうちによく洗うか水につけておく。



④ アクリル絵の具を縁に塗る。

(きれいに仕上げるには、二度塗りする。)

使用した筆は乾かないうちによく洗うか水につけておく。



⑤ 仕上げにつや消しのトップコートを全体に塗る。

(きれいに仕上げるには、二度塗りする。)

使用した筆は乾かないうちによく洗うか水につけておく。

④、⑤とも、ドライヤーを使うと早く乾く。



⑥ 筆、水入れ、パレットなど簡単にかたづける。

⑦ 植え込み準備をする。

⑧ 鉢底石、培養土を鉢に入れ、ハーブの苗を植える。

⑨ みんなで片づける。



ジュースの缶を花瓶に(左) ペットボトルで植木鉢(右)



## ■ 参考資料

世界に一つだけの

## ♪♪ペットボトルでコンテナ作り♪♪

使用する物 ツルンとした丸い形のペットボトル、  
お気に入りの絵がかかれたペーパーナプキン、平ふで、ハサミ、パレット、  
ケマージュ(専用のり:フタ付きのカップにいれてある)、アクリル絵の具、ふで洗い、仕上げ剤  
★ ドライヤー(大人の人がいる時にだけ使用しましょう) 苗、底いし、肥料の入った土

でこぼこの少ないのボトルを 下から 20 センチ程で切り、底に穴をあけて持ってきました。  
切り口はカラーテープをまいています。

- 1、 ボトル全体に色をぬろう。
- 2、 好きな絵をハサミで切り取ります。
- 3、 水につけたふでに専用のりつけて、ボトルのほりたい部分にぬります。
- 4、 ②で切ったものをその上に静かにおきます(1枚だけはがしてから)
- 5、 また、絵の上から、ふでをねかすようにして、はみ出すくらいにのりをつけます。  
\*ふでを立てて使うとやぶれちゃうよ
- 6、 かわかします。(ドライヤーは熱くなるので大人の人に見てもらおう。)
- 7、 かわいたら、またのりを絵の上からぬり→かわかす
- 8、 仕上げざいをぬってかわかしたら、コンテナの出来上がり♪～～

次は、ここに植物をうえていきます。つくえの上のハサミやふでをかたづけましょう。  
植物の育て方は別の紙をみてね。

\*\*\*\* ふたつきのジュースなどのアルミ缶なら、花びんになります。 \*\*\*\*  
お家で育てたお花を、入れたらステキ☆